

記入例：フランス方式による婚姻
(夫妻とも日本国籍)

婚姻届

届出を出す時の住所を日本語で記入。すでに同居している場合は、同じ住所。パリ市の場合、パリ市第〇〇区と記入。パリ市以外は県名も記入。記号(=、・等)は書かない。

受理	令和	年	月	日
第				号

フランス方式で婚姻した場合、用紙右側の証人欄は記入不要。

書類調査	戸籍記載	記載調査	調査票	附票	住民票	通知
戸籍に記載されているとおりに記入。					年号で記入。	

(1) 氏名	夫になる人		妻になる人	
	(フリガナ)	トドケデ タロウ	ガイム ハナコ	
氏名	氏	届出	氏	外務
	名	太郎	名	花子
生年月日	平成2年4月3日		平成4年7月10日	
	フランス国ロワレ県オルレアン市 レタップ広場1番地		フランス国パリ市第8区オッシュ 大通り7番地	
(2) 住所	大阪府大阪市中央区大手前 4丁目1番		東京都千代田区霞が関 2丁目2番	
	筆頭者の氏名 届出 一郎		筆頭者の氏名 外務 太郎	
(3) 本籍	父 届出 一郎		父 外務 太郎	
	母 和子		母 良子	
父母及び 養父母の氏名 父母との続柄	養父		養父	
	養母		養母	
婚姻後の夫婦の 氏・新しい本籍	☐ 夫の氏 ☒ 妻の氏		新本籍(左の☑の氏の人がすでに戸籍の筆頭者となっているときは書かないでください) どちらかをチェック。 東京都千代田区霞が関2丁目2番	
	同居を始めたとき 令和7年1月		(結婚式をあげたとき、または、同居を始め たときのうち早いほうを書いてください)	
(4) 初婚・再婚の別	☒ 初婚 再婚		☒ 初婚 再婚	
	☐ 死別 ☐ 離別		☐ 死別 ☐ 離別	
(5) 同居を始める 前の夫婦のそれ ぞれの世帯の おもな仕事と	夫 妻		1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯	
	夫 妻		2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯	
(6) 夫婦の職業	夫 妻		3. 企業・個人商店等(官公庁は除く)の常用勤労者世帯で勤め先の従業員数が1人から99人までの世帯(日々 または1年未満の契約の雇用者は5)	
	夫 妻		4. 3にあてはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5)	
(7) 夫の職業	夫 妻		5. 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯	
	夫 妻		6. 仕事をしている者のいない世帯	
(8) 婚姻証書添付。	令和7年1月11日		フランス国	
	夫 届出 太郎		妻 外務 花子	
その他	届出人署名(※押印は任意)		届出人署名(※押印は任意)	
	事件簿番号		事件簿番号	

新本籍地については、事前に当該市区町村役所・役場に
本籍地の設定が可能かどうか確認してください。
本籍地は「2-2」のように略さず、番・番地なども正確に
記入してください。

(届出人の連絡先及び電話番号)

06-1234-5678(夫) 07-8756-4321(妻)

日中ご連絡できる夫妻の番号を記入。